

# OVER the RAINBOW

巻頭言

国立大学法人 大阪教育大学 理事(国際担当) 中原 秀人

『グローバルってなんだ!』

vol. **31**

## TOPICS

- スタッフ紹介
- 新任教員の言葉
- 本学での取り組みと学生のメッセージ  
留学生の声  
外国語学習支援ルーム(GLC)の主な活動  
派遣留学生の声  
交流行事・学外見学報告
- 2022年度前期修了留学生メッセージ
- 本学卒業生の今!
- グローバルセンターニュース&More!  
久々に行って、なるほど。日越交流  
重要文化財の民家の暮らしを体験  
グローバル教育白熱教室  
留学生支援のお願い



国立大学法人 大阪教育大学 理事（国際担当） 中原 秀人

# 『グローバルってなんだ！』

古希を前にした令和3年4月に大阪教育大学の理事に就任致しました。学外理事として微力ながら大学の発展のため努力致します。

私は43年に亘り商社勤めを致しました。この間、ブラジル・米国・カナダ・英国・中国に駐在し、100ヶ国を超える国を訪れました。異文化の中で常識や商習慣の違いにもがき、失敗を重ねる中で「グローバル」である事の意味も考えて来ました。以下、私なりの結論です。

グローバルであると言うことは他者を理解する能力が高いということであると思います。他者（日本人であれ、外国人であれ）を理解する能力を身につける。その手段が外国語や世界史を学ぶ事であったり、異文化交流を試みる事であると思います。

「グローバルな日本人」であるための条件は「日本語と言う言語によって深い思考が出来る」事です。外国語が話せること自体はグローバルであることではありません。外国語が話せなくても他者を理解する事は出来ます。自分を客観的に見る事が出来、多様性を理解する事、そして、自分の考えを理解して貰う能力を高める事こそがグローバルの意味であり、グローバル教育の目的であると思っています。

皆さんの多くは次世代の日本人や、日本に関心を持っている外国人を教育する立場にある方、又は、そういう立場になる努力をされている方々であると思います。他者を理解する能力を養い、共にグローバルな人間に成長していくことが、課せられた使命であると思います。

私は今思い返して、一人赤面する数々の失敗の末に、ようやくこのようなごく当たり前の結論に達しました。残る人生も試行錯誤の繰り返しと思っています。皆さんと一緒に人生の意味について、グローバルであることについて、考えたいと思っています。



国立大学法人大阪教育大学理事（2021.4～）  
任期：2022年4月1日～2024年3月31日

東北大学法学部卒  
三菱商事株式会社執行役員・欧州支社長  
三菱商事株式会社常務執行役員・中国総代表  
三菱商事株式会社代表取締役・副社長執行役員  
株式会社高松コンストラクショングループ監査役  
株式会社高松コンストラクショングループ取締役

## » スタッフ紹介

2022年4月から国際室国際交流係の担当になった浅井と申します。

今まで新型コロナウイルス感染症拡大という予期せぬ事態で、渡航が難しい状況だったと思いますが、少しずつ留学に向けての動きが戻り始め、説明会などを通して、学生さんの興味や意欲を感じています。

国際室での業務は初めてではありますが、自身の留学経験も踏まえて、学生さんの力になれるよう日々努めてまいりますので、よろしく申し上げます。



国際室国際交流係 浅井 温子



# 新任教員の言葉

New teacher's voice



多文化教育系 グローバル部門 特任准教授  
(グローバルセンター 留学生教育部門・国際教育部門) **李 址遠** (イ ジウオン)

2022年4月にグローバルセンターに着任いたしました。留学生対象の日本語の授業や、学部と大学院の日本語教育関連の授業を担当しています。専門は日本語教育と言語人類学で、「世界は言語でできている」という信念に基づいて教育と研究を行っています。私は韓国出身で、韓国の大学で外国語として日本語を学び、2011年に来日しました。これまでの日本生活の中で、日本語を通じてたくさんの人々に出会い、たくさんのことを学んできました。留学生の皆さんにもぜひ、日本語を通じて新たな人々とつながり、素晴らしい思い出を作るという経験をしてほしいと思います。私も皆さんの充実した留学生活のために一生懸命サポートしていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



多文化教育系 グローバル部門 特任講師  
(グローバルセンター 語学教育部門) **筒井 瑞貴** (ツツイ ミズキ)

2022年4月より大阪教育大学の多文化教育系教育協働学科英語コミュニケーションコースの特任講師に着任しました語学教育部門の筒井瑞貴です。主に19世紀のイギリス文学を専門に研究しています。居ながらにしてさまざまな「他者」と出会うことができるのは文学ならではの魅力ですが、自由な移動もままならない昨今の状況を鑑みるにつけ、大学時代に交換留学で実際に渡英した経験が懐かしく思い出され、きわめて価値ある時間だったと痛感させられています。国境を越えて他者と交流し対話することの真の意義とは何かをいま改めて問いつつ、異文化コミュニケーションのために欠かせない下地となる語学教育の充実や語学学習の支援に真摯に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしく願いします。



高度教職開発系 高度教職開発部門 特任准教授  
(グローバルセンター 国際教育部門・連携開発部門) **王 林鋒** (ワン リンフォン)

2022年4月からグローバルセンター国際教育部門と連携開発部門の一員となりました。主な研究テーマは、専門職として教師の学び合うコミュニティの構築と発展です。元中国の学校教員、元来日留学生としての経験から「人と人を繋ぐ」大切さを実感し、現在も「日本と世界の学習者・教師を繋ぐ」国際協働プロジェクトを日々の教育実践に取り組んでいます。日本の現職教員を対象とする教職大学院の科目「グローバル時代の教師」、「グローバルリテラシーの育成」、「グローバルプログラムの開発」に携わっています。これらの授業では、海外の教育者たち、教員研修留学生をはじめとする在日の教育関係者と日本の教員が対話しながら、今の教育と未来の教育を創っていけると信じています。私の授業にいつでも来てください。

留學生の声



**王玉湖** (オウギョクコ) 大学院 教育学研究科 高度教育支援開発専攻 1回生 (中国出身) 留学予定期間 2022年4月～2024年3月

私は2018年に大阪教育大学の教育学部に入學し、今年の4月に同じ大学の大学院に入學しました。当初は日本語の美しさと日本の文化に惹かれて、日本留学を切望していたので、学部の時に、日本の文化を体験したくて弓道部に入部しました。日本人部員と日々のコミュニケーションを取りながら、他大学とのリーグ戦、試合練習、さらには全国大会に臨みました。敵でありながらも助け合い、ぶつかり合って成長するという意義深い出会いばかりでした。その時の熱さは、今でも鮮明に覚えています。今は大学院に入ったばかりで、今後さまざまな課題を迎えることになるだろうと思います。実践演習、課題調査、ゼミなどでの多くの出会いを経て、活躍できることを楽しみにしています。



**劉徳瑜** (リュウトクユウ) 教育学部 教育協働学科 教育心理学専攻 1回生 (台湾出身) 留学予定期間 2022年4月～2026年3月

私が大阪教育大学を知ったきっかけは、高校時代の友人が志望校にしていたことです。当時、学校教育や心理学について勉強したいと強く思っていた私は、この教育心理学専攻なら求めている知識が学べるとわかり、それ以来ずっと第一志望として大阪教育大学を目指してきました。2020年はコロナ禍で入国できず、受験できませんでしたが、それでも諦めず、翌年オンライン入試のチャンスを得て、ようやく念願のキャンパスに足を踏み入れることができました。入学当初は一人で日本に飛び立ち少し寂しく不安でしたが、先生や生協の方のサポート、友人のおかげで生活も安定し、人間関係や勉強も順調に進んでいます。これから新しくできた友達とより詳しく心理学について学んだり、研究したりしたいです。また日本でしか体験できないと思い、弓道部にも入りました。部活でも、試合でいい成績を残せるよう練習に励み、青春の学生生活を送れることを期待しています。



**Stengel Simon, Matthias** (シテンゲルズィーモンマティアス) 特別聴講学生 (ドイツ出身) 留学予定期間 2022年4月～2023年3月

2ヶ月前に日本に来てから、いろいろなことを経験しました。大阪教育大学の敷地に足を踏み入れて最初に思ったのは、キャンパスがとても広いということでした。ドイツの大学は街中に点在しているので、こんなに大きなキャンパスに慣れていないのです。また、階段が多いのも健康にいいのは間違いありません。授業以外にも、大学ではさまざまなアクティビティが行われています。卓球のレッスンに参加したり、週に一度、昼休みに英語のチャットグループに行ったりしています。学生寮のフラットメイトはみんな仲が良く、すでに一緒に行動することも多くなりました。これから先、どんな体験ができるのか、楽しみです。



**KIM EUI KYUNG** (キム ウィギョン) 教員研修留学生 (韓国出身) 留学予定期間 2021年10月～2023年3月

私の留学は去年の10月からでしたが、コロナ禍のため今年の5月にやっと大教に来られました。それまで日本に来られずとても残念でしたが、先生方の配慮でオンラインで授業とゼミに参加することが出来ました。チューターの方とも毎週Zoomで話をし、残念な気持ちが和らぎました。配慮くださった大教の皆さんにとっても感謝しています。大教に来て、新しい経験を積み、また新しい関係を築くことができ嬉しいです。素晴らしい先生方や学生たち、そして寮では世界各国から来た留学生たちに出会うことが出来ました。皆さんとても親切で明るく、ここでの出会いを大切にしていきたいと思っています。また、大教の皆さんは研究や勉強にとっても熱心で、私も沢山学び、国に帰った時学んだことを生かせるよう頑張っていきたいと思っています。

外国語学習支援ルーム (GLC) の主な活動



エミリーさん(教研生)を中心としたランチタイムチャット

Global Learning Community (GLC) は、外国語学習支援ルームのことで、柏原キャンパスの共通講義棟A-206にあります。天王寺キャンパスにはランゲージチャットルームがあります。英語の指導を行ったり、留学生との交流活動を催したりしています。

具体的には、オンラインで英検の二次試験やTOEIC、IELTSの対策授業を実施したり、英検ライティングの個別指導を行ったりしており、多数の学生が参加しています。GLCでは、本学図書館にはあまり置いていない各種試験の問題集や多読図書などを貸出しています。

さらに、柏原、天王寺キャンパスのいずれにおいてもネイティブスピーカーの先生が個別 (one on one) のスピーキングやライティングのレッスンを開いています。

また、柏原では、母国で教員をしている教員研修留学生と複数の学生が集まり、様々な話題について英語で会話を楽しむランチタイムチャットも行っています (写真・上)。天王寺キャンパスでは、英語ネイティブの先生が中心となりグループ英会話の機会を設けています。

写真(下)は、本学留学生を交えて日本語チャットを行ったときの様子です。行きたい場所やおすすめの場所、好きなアニメなど幅広いテーマで会話を楽しんでいます。日本語チャットは、GLCサポーター (本学学生) が中心となり活動を企画、運営しています。日ごろからGLCに常駐し、留学生のサポートも行っています。

GLCの活動日などの情報はホームページをご覧ください。また、TwitterやFacebookでも様々な情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします。



@OKU\_glc



@okuinternationaloffice



GLCサポーターを中心として行う日本語チャット



# 学生のメッセージ

## 派遣留学生の声



難波 蒼 (ナンバ ソウ)

教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース4回生  
アメリカ・ウエスタンカロライナ大学への交換留学中(期間:2022年1月~2022年12月)

コロナ禍ということで、渡米にあたっての準備は特殊でした。そのタイミングである2022年1月当時は、フライトの24時間以内に受けたPCR検査の陰性証明を提示するなどの条件があったので、健康面に関しては最も気を配りました。

大学に到着してからは、友達をつくれるかが一番の焦点でした。しかし幸いなことに、大学には気さくで親しみやすい学生が多く、セメスターを通して授業内外で多くの友達との交流を楽しむことができました。今でも鮮明に覚えているのが University Participant Program の学生との交流です。これは、障がいを持つ学生が2年間という短期間で大学生活について学び、より確かな自立を手助けするためのものです。私が受講した授業のうちの一つにおいて、このプログラムに参加する学生一人と知り合いました。彼とは食事の時間が重なることが多く、よく一緒に話していましたが、これが彼の友達及び彼をサポートする学生

と知り合うことにもつながり、現地学生の友達はさらに増えました。

さらに現地学生に加え、各国から留学で来ている学生と交流する機会もあります。学内の食堂で一緒に食事をするほか、学外の近場でレストラン、ショッピング、ボウリングに行くなどし、時間を共にしました。また、留学生をサポートする地域の方々が行うイベントを通じて、私を含め留学生同士の結びつきは一層強くなりました。このようにして深まった人間関係もまた特別なものです。

授業においては、疑問に思ったことはもちろん質問できますが、違いを感じたのは教授と学生の距離感でした。英語を聞き取れなかったり、そうでなくても内容を理解できていないか不安になったりと、私は授業終了後にほぼ毎回なにかと質問をしていました。質問に行くとき先生方は「やあ蒼、どうしたの?」と優しく迎えてくれます。これが授業自体はもちろん、課題に取り組む際の安心感にもつながりました。

授業外に活用できるサービスで特に印象に残っているのがチューター制度です。これは、ライティングに関連する課題のサポートを無料で受けられるもので、私は特にミニ論文(数ページ程度の調べ学習型の課題)の添削をしてもらっていました。単に現地学生に英語を直してもらっただけではありません。「このペーパーはどういう内容なの?」「この段落では何を伝えたいの?」といったやりとりも添削のプロセスの中で行い、自分の学んだ内容について考え直す機会にもなりました。

留学をすることは決して簡単ではありませんが、その分ここでは伝えきれないことも含めて素晴らしい経験をたくさん積むことができます。留学に興味をお持ちの方にとって、上記の内容が少しでもプラスとなれば幸いです。



## 交流行事・学外見学報告

### 「過去への旅」 Maratova Aibiike (マラトワ アイビケ) 日本語・日本文化研修留学生 (キルギス出身)

留学予定期間  
2021年10月~2022年9月

「大阪の文化I」の科目で、二回に渡って見学に行った。大阪城と柏原市歴史資料館だ。この見学は素晴らしい印象を残し、私の歴史への興味を刺激した。大阪城は大きな印象を与えた。こんなに高く美しいお城を見たのは初めてだった。また、ガイドさんのおかげで、お城の周りの多くの秘密の場所を訪れ、たくさんの興味深いことを学んだ。大阪城は歴史的、文化的に大きな意味があると感じた。歴史資料館への訪問もとても面白かった。古墳時代の展示品をたくさん見た。ほとんどの古墳時代の物が元の形で保存されていることに非常に驚いた。また、大阪教育大学の近くには古墳がたくさん保存されていることも知った。このような場所は、過去を再現することを可能にする。見学は非常に面白かった。この機会を与えてくれた大阪教育大学と米澤先生に感謝している。



### 「山本国際学生宿舎でのRA\*イベント」 木村 朝美 (キムラ アサミ) 教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース3回生

RAタイムは、週に2~3回集会室で開かれるイベントのことです。主にゲームをしたり雑談をしたりしていて、それぞれの国の文化や考え方を共有できる場所となっています。また、プライベートでも遊ぶような友達になっている人達が多く、留学生同士の交流の場にもなっています。

RAイベントは、RAが企画した行事を月1回に開催している活動です。RAイベントは、留学生のみなさんにとって素敵な日本での経験になるように、楽しい企画から真面目な企画まで幅広く活動しています。モルックというスポーツで遊んだ回では、職員棟の子どもたちとも遊んで仲良くなっていました。他にも、「世界環境デー」には、職員の方と交流しながら、寮や周辺のゴミ拾いを行いました。




\*RA (レジデント アシスタント): 留学生が安心して快適な寮生活を送ることができるよう、寮に住みながら留学生を支援する学生


# 2022年度 前期修了 留学生メッセージ

Thank you O.K.U


## 日本語・日本文化研修留学生

	氏名 ホアン・ティ・スィン 出身 ベトナム
---	--------------------------------


柔道は楽しかった。たまに宿題やレポートの締め切りでストレスもある。だが自分には良いストレスでした。この6ヶ月間にいろいろ勉強も旅行もできましたが、一番良かったのはみんなとの出会いでした。OKUありがとうございました!!!

	氏名 リア 出身 アルゼンチン
---	--------------------------


この素晴らしい一年間、このOKUが感謝いたします!

	氏名 グラダ 出身 ウクライナ
---	--------------------------

コロナが障壁にならず、OKUのおかげでたくさんの経験をしたり、素晴らしい思い出を作ったりできました!

	氏名 王偉浩 出身 中国
---	-----------------------

大阪に来られて、勉強できて、誠に有難く存じます。新しい友達もいじりできて、すごく楽しかったです!

	氏名 マタイビー 出身 ベトナム
---	---------------------------

この一年間は忘れられない記憶になりました。ありがとうございます。

	氏名 ミキ 出身 韓国
---	----------------------

OKUのおかげで、いろいろな国の友人、または素敵を思い出ができました。

おおきにーく




	氏名 ハロンキウアン 出身 ベトナム
---	-----------------------------


大阪教育大学で1年間留学して、たくさんの思い出ができました。人生の中で一番最高


O.K.U  
Over the Rainbow  
Message  
vol.31

## 特別聴講学生

	氏名 彭翊 出身 中国
---	----------------------

とにかく長くないので、今回の留学は決して忘れ難い思い出になりました!!!



	氏名 王磊 (オウレイ) 出身 中国
---	-----------------------------

大教大での生活はそろそろ終わります。おとろい時に帰る日が来ます。半年間の交換留学ですが、充実した日々を送っています。先生たちも優しい。授業の内容も面白い。とにかく生活ペースですが、大教大の生活永遠に忘れない!





# 本学卒業生の今!



2022年3月卒業  
教育協働学科 グローバル教育専攻  
多文化リテラシーコース  
指導教員：井上 直子教授

## 王 晓彤 (オウ ギョウトウ) さん (中国出身)

東京の日本語学校を卒業して、まずは進学することを決めました。大学に行きたいという考えから留学生試験(EJU)を受けました。当時留学生試験の成績を持っていないと大学入試に挑戦できなかったからです。しかし、成績を取った後も、私には他の悩みがありました。それは大学の選択です。最初は日本語を勉強したいという思いから、大学でも言語を専門とする学部、学科を目指しました。ネットで調べただけでも、日本語の専門コースがある大学をたくさん見つけることはできますが、その中で自分に合うところというのはすぐに決められません。そこで、日本語学校の先生と何回も相談し、生活費などの細かいところまでいろいろ尋ねました。漸く大教大を第一志望としました。

今年の3月に大教大を卒業し、キャリアの先生のおかげで飲食業界に就職することになりました。今は飲食店で料理をしています。

大学では4年間の教育に関する知識をたくさん得ました。今は飲食店で新しくアルバイトさんが入っても、私は直接に教えるわけではありません。けれども、不安な時があれば、相談に乗れる役を目指して、頑張っていきたいと思います。



2021年3月卒業  
大学院教育学研究科  
国際文化日本・アジア言語文化研究  
指導教員：中野 知洋准教授

## 史 雨 (シ ウ) さん (中国出身)

2020年度修士修了の史雨と申します。現在は神戸大学の博士課程で勉強しております。2018年10月に研究生として大阪教育大学に入学し、そのまま大学院へ進学、修士課程を2年で修了しました。

大教大で学んだ2年間半を通して、私は院生との切磋琢磨や厳しくも温かい先生方のご指導のお陰で、学問の醍醐味を感じられました。振り返ってみると、論文執筆の日々は今後の人生の方向性を決める貴重な時間となりました。修士論文の作成において、指導教員と何度も話し合いを重ね、同じ専攻の先生方の貴重なご意見をたくさん頂きました。とことん粘って研究の切り口を探している中で研究に対する意欲がどんどん強くなりまして、指導教員や学友たちと相談した上で博士課程に進学し、自分の可能性をもっと試したいと決意しました。

私の夢と進路の実現に導く、人生さえ変えた大教大、及び大変お世話になった先生方には感謝してもきれません。四季折々の美しいキャンパス風景、賑やかな部活、青春の匂いがする神楽祭、様々な文化研修旅行、明るい雰囲気でのゼミ、盛んな学会活動、良い思い出ばかりでした。この大学での試行錯誤や色んな人との出会いを通じて、私は大いに成長しました。是非とも大阪教育大学でゆっくり着実に学び続けて、豊かな学習環境を楽しみながら有意義な大学生活を送ってほしいです。



2022年3月卒業  
教育協働学科 グローバル教育専攻  
多文化リテラシーコース  
指導教員：井上 直子教授

## 鄭 徳陽明 (テイ トクヨウメイ) さん (中国出身)

進学を考えられているみなさん、こんにちは！卒業生の鄭 徳陽明です。

私は中国からの留学生で、2018年に教育協働学科・グローバル教育専攻・多文化リテラシーコースに進学しました。ここで、私が学びたい日本語教育に関わる内容以外に、教育・人文社会・国際文化など幅広い専門能力を身につけました。勉強以外に、大阪教育大学の課外活動も豊富で、大学生活をとっても楽しく過ごしました。

今は大阪大学の人文科学研究科で修士前期の課程を履修しており、第二言語習得に関する研究をしています。大阪教育大学の教育コラボレーション演習で教育現場で経験したことと身につけた専門知識を今の研究にも生かしています。



## 久々に行って、なるほど。日越交流

入国規制が撤廃されたベトナムを5月末～6月初めにかけて訪問しました。やるとなったらピシャッと規制するお国柄、このチャンスを逃せませんでした。

ホーチミンは、WWL(ワールドワイドラーニング)\*事業の下見のハノイの後に深夜の到着。閑散とした夜の空港を想像していましたが、なんのなんの2年前と変わらぬ活気に、ああホーチミンに着いたというのを実感しました。

ホーチミンの初日は、かねてから一度はお邪魔したいと思っていた「ホーチミン日本人学校」へ。同行していただいたのは、大教大ご出身で今やホーチミン市師範大学の日本語学部学部長のチー先生。日本車で登場した先生は、以前にましてパワフル。日本人学校では校長先生、教頭先生と、じっくりミーティング。各国の学校・インターが揃うホーチミンでは、日本人学校も存在感をしめさなければ、日本人

\*WWL(ワールドワイドラーニング)…将来、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成するため、高等学校と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生へ高度な学びを提供する仕組み(ALネットワーク)の形成を目指す取組

理数情報教育系 理数情報部門  
教授 仲矢 史雄 (ナカヤ フミオ)  
(グローバルセンター 連携開発部門)

弟から選ばれないという話になっとく。

チー先生とは、「日本人にとって当たり前だけど、グローバルに見ると驚くべき点が日本の学校に多い。教科書も、図工・体育・理科などの実技教育が面白い。もっとアピールした方がいい!」という話で盛り上がりました。ちょっと危機感と期待感の両方を実感する日本人学校訪問でありました。



ホーチミン日本人学校での図工の様子  
「造形遊びはベトナムでは新鮮な内容だそうです。」

## 「大阪の文化Ⅱ」の授業で、重要文化財の民家の暮らしを体験

留学生のための授業「大阪の文化Ⅱ」の一環で、2021年12月25日に重要文化財・奥田家住宅(大阪市平野区)を訪問し体験学習を行いました。奥田家住宅は約300年の歴史を持つ住宅です。この日までに渡日できた日研生3名と教研生1名が、主屋や土蔵を見学したあと、大阪工業技術専門学校の左海晃志先生の指導で指金や鋸を使った大工道具体験をし、またお茶室でお茶会を楽しみました。さらに、ご家族のご厚意で、土間のかまどで炊いた玄米おにぎりをご馳走になりました。

2022年4月10日には、3月に渡日した4名の日研生のために再度機

会をいただき、奥田家住宅に加えて、重要文化財・三田家住宅(柏原市)を訪問しました。両住宅では、ご当主の奥田謙一さんと三田昌孝さんから住宅の歴史や暮らしの変化などについてお話をお聞きしました。日研生にとって、日本の住文化を実体験する貴重な経験となりました。

健康安全教育系 健康安全科学部門  
教授 碓田 智子 (ウスタ トモコ)  
(グローバルセンター 留学生教育部門)



## 11か国からの教員研修留学生と日本の学校教員による「グローバル教育白熱教室」

天王寺キャンパスで開講されている「グローバルリテラシーの育成」の授業に、2022年6月27日に11か国からの教員研修留学生11名が参加しました。日本の現職教員院生と小グループ形式で母国の教育事情、勤務校での実践と現在の研究課題を語り合うことができました。日本語、英語、機械翻訳、スライド、手書きイラストなどあらゆる手段を活用しながら伝えようとした姿が感動的でした。授業後に「It was so interactive and informative. I enjoyed talking with the Japanese teachers. It was a rich and interesting experience」、「いろんな国の教育について直接教育に関わる人と話をしたことがなかったのでとても面白かったです。教育を受けてきた人と教育に関わる人とはまた見方が違うので、捉え方や良いと思うところ、いまいちだと感じるところが明確になっていると思いました。」と多くの声が寄せられました。自分の思いや考えを十分に伝え

きれないメンバーもいましたが、これからも第2弾、第3弾「グローバル教育白熱教室」を続けます。

高度教職開発系 高度教職開発部門  
特任准教授 王 林鋒 (ワン リンフォン)  
(グローバルセンター 国際教育部門・連携開発部門)



## 留学生支援のお願い

留学生後援会では修学支援奨学金の給付による留学生支援を行っております。ご賛同くださる皆さまは、下記によりご支援下さい。留学生支援のためのご寄付についても、税法上の優遇措置の適用を受けることができることとなりましたので、この機会にぜひご検討下さい。

### 学内教職員

●一口500円/月、給与から天引き

### 学外支援者

●現金納入

●振込…任意の金額を下記宛てにお振込下さい

三菱UFJ銀行 藤井寺支店

普通預金 口座番号: 5210211

名義: 大阪教育大学留学生後援会(オオサカキョウイクダイガクリュウガクセイコウエンカイ)

## 寄附・納入方法

